

農と食の教材 子どもたちに

J A相模原市
J A神奈川つくい

【相模原】J A相模原市とJ A神奈川つくいは2月27日、相模原

教材を贈呈する内田課長
と山口副部長



市中央区の同市役所を訪れ、J A相模原市組織相談部組織広報課の内田裕美課長とJ A神奈川つくい経済部の山口稔副部長が、同市教

育委員会の松本祥勝担当課長に食農教育の教材を手渡した。

教材本は、J Aグループが2008年から子どもたちの食・環境と農業への理解を深めるきっかけとなることを願い「J Aバンク食農教育応援事業」の一环として作成している。

食農教育を基本に、毎日食べている食材の「食」がどのようにできるかを学び、農作業の過程や農産物が生産

者から消費者に届くまでの流通経路などを総合的に学べる内容。子どもたちが話し合いながら、自己の考えや理解を深めるようになっている。

今回の改訂では、食品ロスや持続可能な農業に関する話題を追加し、持続可能な開発目標（SDGs）のテーマを農業の発展や新しい取り組みなどとひも付けて考えられるようになっている。

松本担当課長は「農

業や食を身近に感じるとともに知識を学べる冊子。子どもたちにも分かりやすく学習しやすい内容で授業に取り入れたい」と話した。

相模原市内小学校56校へは後日、配布する予定。